

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和4年6月24日(金)

1. 基本事項

施策		健康づくりの推進		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	福祉健康部 保健センター
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	目的・対象	市民一人ひとりが、心と身体の健康に気を配り、定期的に健康状態を確認し、健康の維持、増進に向けた活動を行えることを目指す。		
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり				
	小項目	1	健康づくりの推進				
	主要プロジェクト	1・2	1 出産・子育て安心ふかやプロジェクト 2 シニアが輝くふかやプロジェクト				
重要度・満足度	健康づくりの推進と保健・医療の充実に対する市民の重要度は高く、満足度も高い状況となっている。			施策推進のための主な取組	健康づくり推進事業、予防接種事業、成人保健指導事業 健康診査事業、特定健康診査等事業、がん検診事業 歯科保健指導事業、母子健康包括支援事業 乳幼児健康支援事業、未熟児養育事業		
施策を取り巻く社会状況等	少子高齢化が進む中、健康寿命の延伸や子どもが健やかに生まれ育つための支援が重要となっている。健診未受診等、疾病の早期発見・早期治療、健康づくりなどへの影響や、核家族化や地域のつながりが希薄化し、妊産婦が孤立して悩みを抱えやすい状況がある。						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				一部達成	未達成	一部達成	一部達成	
成果指標	普段の生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	-	67.40	68.40	69.40	70.40	71.40
	深谷市民まちづくりアンケート		67.90	59.60	62.60	64.10	60.60	
	定期的に健診等を受ける市民の割合	%	-	72.10	73.10	74.10	75.10	76.10
	深谷市民まちづくりアンケート		73.20	73.30	72.90	77.20	77.50	
	乳幼児健診の平均受診率	%	-	98.70	98.80	98.90	99.00	99.10
	受診者数/対象者数		96.70	98.40	97.90	98.20	97.60	

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	拡充	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>健康づくりに取り組む市民を増やすために、市全体で市民の健康づくりを支援する仕組みづくりを推進していく必要がある。定期的に健診等を受けている市民の割合は目標を上回っているが、前回より低下した。今後も継続して健診等の受診勧奨を行う必要がある。乳幼児健診の受診率は減少したが、対象児の未受診児把握を実施し全数把握することができた。今後も受診勧奨に努めていく。</p>				
			評価者	保健センター所長 穂山光昌

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	官民協働の健康づくりと食育推進の継続と個人のライフスタイルに沿った健康づくり支援を進めていく。今後も引き続き健診等について周知方法を研究し、受診勧奨に努めていく。 妊娠期から子育て期は保護者が孤立しやすいことから、乳幼児健診の受診勧奨及び未受診児訪問等で保護者の育児不安の軽減を図る。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価(所属長の見解)

<p>健康づくりの推進に関する市民のニーズは高く、第2次総合計画の個別施策に繋がる事業であり、目指す姿を目標に官民協働で市民の健康づくりを支援する仕組みづくりを進めていく。                      コロナ禍で孤立しやすい保護者の育児不安を軽減するためにも、乳幼児健診の受診勧奨等に努めていく。</p>	
所属長	福祉健康部長 清水良保